

# 第 41 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和 2 年 7 月 30 日(木) 15:10～

場 所：県庁 6 階 第 1・第 2 特別会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 報告事項

- (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について
- (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

### 3 議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

### 4 その他

### 5 閉 会

## 沖縄県における新型コロナウイルス感染症陽性者の状況

分類

7月30日（木）

12時00分現在

年代	男性	女性	非公表	合計
90代	1	1		2
80代	6	1		7
70代	15	13		28
60代	25	11		36
50代	25	14		39
40代	36	18	1	55
30代	40	23		63
20代	39	43		82
10代	3	2	1	6
10歳未満	2	1	2	5
合計	192	127	4	323

※年代非公表1

療養状況	人数
入院中	110 うち重症 2
入院調整中	63
宿泊施設療養中	0
自宅療養中	0
療養中患者計	173
入院勧告解除	148
うち解除後再入院	4 ※
うち退院	144
死亡退院	7
合計	328
合計(実数)	324 ※重複例は複数カウントせず

推定感染経路		
接触者	※1	142 44%
接触判明	※2	18 6%
米軍関係		1 0%
県外		18 6%
海外		5 2%
飲食店		23 7%
職場		7 2%
調査中		76 23%
不明		34 10%
合計		324

※1: 確定患者との接触者として予め把握されていた例

※2: 陽性確定後、調査を行った結果、確定患者との接触が事後に判明した例

居住地	
那覇市	151
宜野湾市	16
石垣市	5
浦添市	19
名護市	3
糸満市	8
沖縄市	24
豊見城市	12
うるま市	8
宮古島市	1
南城市	7
※ 北部保健所管内	0
※ 中部保健所管内	33
※ 南部保健所管内	19
※ 宮古保健所管内	0
※ 八重山保健所管内	0
東京都	8
埼玉県	3
千葉県	2
合計	319

※市を除く

行政検査件数	
前日まで	7034件
7月30日	274件
合計	7308件

# 沖縄県における新型コロナウイルス感染症陽性者の状況

## 1 陽性者一覧

確定患者	性別	年齢	発病日	確定日	居住地	職業	推定感染経路
325	男性	40代	7月22日	7月30日	那覇市	会社員	調査中
324	男性	20代	確認中	7月30日	那覇市	接客業	県内確定例の接触者
323	男性	30代	7月26日	7月30日	那覇市	飲食業	県内205、236例目の接触者
322	男性	20代	7月25日	7月30日	那覇市	非公表	調査中
321	男性	20代	7月28日	7月30日	那覇市	接客業	県内203例目の接触者
320	男性	30代	7月26日	7月30日	豊見城市	確認中	県内確定例の接触者
319	男性	30代	7月26日	7月30日	那覇市	接客業	県内212例目の接触者
318	男性	10代	7月28日	7月30日	那覇市	確認中	調査中
317	女性	20代	7月28日	7月30日	那覇市	確認中	県内209例目の接触者
316	男性	40代	7月28日	7月30日	那覇市	確認中	県内244例目の接触者
315	男性	40代	7月25日	7月30日	那覇市	飲食業	県内確定例の接触者
314	男性	40代	7月28日	7月30日	那覇市	無職	調査中
313	男性	30代	7月28日	7月30日	那覇市	確認中	県内241例目の接触者
312	男性	40代	7月20日	7月30日	那覇市	通信工	調査中
311	女性	20代	7月28日	7月30日	確認中	確認中	調査中
310	女性	20代	7月28日	7月30日	那覇市	非公表	県内208例目の接触者
309	男性	30代	7月28日	7月30日	浦添市	確認中	県内確定例の接触者
308	男性	60代	7月29日	7月30日	南部保健所管内	確認中	県内確定例の接触者

確定患者	性別	年齢	発病日	確定日	居住地	職業	推定感染経路
307	女性	20代	7月28日	7月30日	豊見城市	確認中	調査中
306	女性	10代	7月28日	7月30日	浦添市	確認中	調査中
305	女性	30代	7月26日	7月30日	浦添市	確認中	調査中
304	男性	30代	7月27日	7月30日	南城市	確認中	調査中
303	男性	20代	7月28日	7月30日	糸満市	確認中	調査中
302	男性	30代	7月28日	7月30日	南城市	確認中	調査中
301	男性	90代	7月28日	7月30日	沖縄市	確認中	県内確定例の接触者
300	女性	60代	7月26日	7月30日	中部保健所管内	確認中	県内確定例の接触者
299	男性	30代	7月25日	7月30日	うるま市	確認中	県内確定例の接触者
298	女性	60代	確認中	7月30日		確認中	調査中
297	女性	20代	確認中	7月30日	中部保健所管内	基地内従業員	県内確定例の接触者
296	女性	20代	確認中	7月30日		確認中	調査中
295	男性	20代	7月27日	7月29日	那覇市	会社員	飲食店
294	男性	40代	7月28日	7月29日	南部保健所管内	公務員	調査中
293	女性	20代	7月28日	7月29日	豊見城市	保育園調理師	調査中
292	女性	20代	7月28日	7月29日	南城市	公務員	調査中
291	女性	20代	7月29日	7月29日	南城市	確認中	調査中
290	女性	20代	7月29日	7月29日	豊見城市	公務員	調査中
289	男性	40代	7月29日	7月29日	那覇市	飲食業	県内174例目の接触者
288	男性	20代	7月26日	7月29日	那覇市	学生	調査中

確定患者	性別	年齢	発病日	確定日	居住地	職業	推定感染経路
287	男性	30代	7月26日	7月29日	那覇市	接客業	調査中
286	女性	40代	7月28日	7月29日	那覇市	接客業	調査中
285	男性	20代	7月22日	7月29日	那覇市	接客業	調査中
284	女性	50代	7月27日	7月29日	那覇市	会社員	調査中
283	男性	20代	確認中	7月29日	確認中	確認中	調査中
282	男性	30代	確認中	7月29日	南部保健所管内	確認中	調査中
281	女性	30代	7月28日	7月29日	那覇市	接客業	県内確定例の接触者
280	女性	50代	7月28日	7月29日	那覇市	接客業	県内235例目の接触者
279	男性	50代	確認中	7月29日	確認中	公務員	県外
278	男性	40代	7月23日	7月29日	那覇市	自営業	県内確定例の接触者
277	女性	20代	7月28日	7月29日	宜野湾市	確認中	調査中
276	男性	20代	7月26日	7月29日	宜野湾市	基地内従業員	調査中
275	男性	20代	7月26日	7月29日	宜野湾市	確認中	調査中
274	男性	30代	7月28日	7月29日	那覇市	公務員	県内確定例の接触者
273	男性	40代	7月28日	7月29日	糸満市	公務員	県内確定例の接触者
272	男性	50代	7月28日	7月29日	那覇市	公務員	県内確定例の接触者
271	男性	30代	7月26日	7月29日	浦添市	確認中	調査中
270	男性	30代	7月24日	7月29日	那覇市	飲食業	県内174例目の接触者
269	女性	20代	7月24日	7月29日	那覇市	接客業	県内176例目の接触者
268	女性	30代	7月27日	7月29日	糸満市	確認中	調査中

## 在沖米軍基地内における新型コロナウイルス感染症発生状況

( 7月30日 12:00 現在 )

### 1 米軍基地内陽性者数

場所	昨日まで	新規陽性者	合計
嘉手納基地	8		8
マクトリアス	1		1
普天間基地	109	1	110
キャンプハンセン	119	4	123
キャンプキンザー	1		1
キャンプフォスター	2		2
合計	240	5	245
隔離解除(全軍)			130

### 2 基地従業員検査状況(濃厚接触者・有症状者)

所属	検査数 (累計)	陽性者 (累計)
嘉手納基地	1 ( 39 )	0 ( 2 )
マクトリアス	( 1 )	
普天間基地	1 ( 7 )	0 ( 1 )
キャンプハンセン	( 19 )	
キャンプキンザー	( 7 )	
キャンプフォスター	2 ( 9 )	1 ( 2 ) ※
キャンプコートニー	( 2 )	
キャンプシュワブ	( 1 )	
不明	( 12 )	
合計	4 ( 97 )	1 ( 5 )

### 3 繁華街店員・基地従業員等無症状者を対象としたPCR検査

場所	検査数	陽性者数
北谷町 (7/12)	130	0
金武町 (7/19)	198	0
ハンセン・普天間基地 従業員(7/25・26)	983	1 ※
計	1311	1

※再掲

令和2年7月30日12時時点

新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標の状況

判断指標		7月30日 (12時時点)	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
			発生早期	流行警戒期	感染流行期	感染蔓延期
県内の医療体制	① 入院患者数 (宿泊施設療養含む)	173人	23人以下	54人以下	329人以下	329超
	② 病床利用率	72.1%	30%以下	45%以下	70%以下	70%超
	③ 重症病床利用率	1.2%	10%以下	30%以下	60%以下	60%超
県内の感染状況	④ 新規感染者数 (直近1週間合計)	162人	14人以下	37人以下	211人以下	211人超
	⑤ 感染経路不明な症例の割合 (直近1週間平均)	51.2%	30%以下	50%以下	70%以下	70%超
	⑥ 新規PCR検査の陽性率 (直近1週間平均)	3.0%	1%以下	3%以下	7%以下	7%超
	⑦ 入院1週間以内の重症化率 (直近1週間平均)	2.6%	10%以下	15%以下	20%以下	20%超

## 警戒レベル：第2段階における実施内容について(令和2年7月30日更新)

No	区分	実施内容
	緊急事態宣言	中南部地域の状況を注視し、積極的な疫学調査や、必要に応じて集中的なPCR検査の実施などの対策を取りつつ、県全体の状況を勘案し、緊急事態宣言の必要性を検討する
1	外出自粛	<p>(1) 発熱や風邪の症状があるまま活動し感染させる事例が発生している。症状のある方は、外出を控えて自宅療養や健康観察を行い、コールセンタへの相談を行うよう協力を求める</p> <p>(2) 県民・来訪者に対して、「新しい生活様式」の徹底(密閉・密接・密集を避けた行動、感染予防策の徹底、うがい・手洗い・ソーシャルディスタンス、接触確認アプリの活用等)を求める</p> <p>(3) 県民に対して、感染が拡大している地域からの来訪者との長時間の会食や同行等については、健康管理の徹底や、3密の恐れがある施設の回避など、慎重な行動と感染予防の徹底を求める</p> <p>(4) 県民・来訪者に対して、各事業所を利用する際、その事業所や店舗が、ガイドラインに沿った対応をしているかを確認した上での利用を求める</p> <p>(5) 若年層への感染が増えてきており、そこから高齢者等へ感染する恐れがあることから、若年層や家庭内感染の予防策の徹底を求める</p> <p>(6) 中南部地域における外出等について</p> <p>①「接待・接触を伴う飲食店等」いわゆる夜の繁華街においてクラスターが発生している状況を踏まえ、夜の繁華街へ行くことは控えること。特に松山地域への外出は自粛すること</p> <p>②飲食を伴う会合等については、可能な限り控えることとし、実施する場合であっても少人数に抑え、長時間とならないようにすること</p> <p>③市中感染の可能性が否定できないことから、3密対策等感染対策が徹底されている旨の表示がある店舗や施設を利用すること</p> <p>④中南部地域において、感染が急激に拡大している状況を踏まえ、中南部地域とその他の地域(北部、宮古、八重山、本島周辺離島)の移動については、慎重に判断すること</p> <p>※感染が拡大している地域(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数:2.5人) 17都府県：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、広島県、福岡県、熊本県、宮崎県、鹿児島県(7月29日時点 県独自調査)</p>
2	渡航自粛：離島	<p>(1) 県内離島への渡航にあたっては、離島の医療体制は脆弱であることから、マスクの着用など、新型コロナウイルス等の感染防止対策を徹底するとともに、体調不良の場合は、渡航を延期すること</p> <p>(2) 来島自粛を求めている離島もあることから、渡航先の受け入れ状況等を各離島市町村のHP等で確認のうえ、来島自粛を求めている離島への渡航の是非について適切に判断すること</p> <p>(3) 現在、中南部地域において、感染が急激に拡大している状況を踏まえ、中南部地域から県内離島地域への移動については、慎重に検討すること</p>

No	区分	実施内容
3	渡航自粛： 県外	<p>(1) 県外からの来訪者については、「接待・接触を伴う飲食店等」などへの外出を控えること。また、3密対策等感染対策が徹底されていない場所への外出を控えること。マスク着用、手指の消毒、毎日の健康管理等感染対策を徹底すること。</p> <p>(2) 県外への渡航については、全国的に感染が拡大していることから、慎重に判断すること。特に人が集まる催事や集会への参加を目的とした渡航や、いわゆる夜の繁華街への訪問には特に注意を払うこと。</p> <p>(3) 防疫体制については、空港でのPCR検査、抗原検査も含めて、実務者会議での課題を整理してTACOの防疫体制の更なる拡充を図る</p> <p>(4) 接触確認アプリ「COCOA」や、沖縄県のLINE公式アカウントの利用を促進し、コロナに関する情報提供等を行う</p> <p>※感染が拡大している地域(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数:2.5人) 17都府県：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、広島県、福岡県、熊本県、宮崎県、鹿児島県(7月29日時点 県独自調査)</p>
4	休業要請	<p>(1) 事業者に対して、各業界団体等が示した感染予防ガイドラインの遵守と、店舗入口等への掲示を求める</p> <p>(2) 感染防止対策に自ら取り組む事業者に対して「感染防止徹底宣言ステッカー(仮称)」を発行し、店舗等で掲示することで、県民や来訪者が安心して利用できる施設であることを周知する取組を早急に進める</p> <p>(3) 県民・来訪者に対して、各事業所を利用する際、その事業所や店舗のガイドラインに沿った対応をしているかを確認した上での利用を求める</p> <p>(4) 夜の繁華街での感染が目立ってきていることから、適切な感染予防ガイドラインの遵守の徹底を求める</p> <p>(5) クラスタが複数発生し、急速に感染が拡大している松山地域の接待・接触を伴うスナック・キャバレー・ナイトクラブ等の事業者に対し、8月1日～8月15日の間、休業を要請する。また、8月2日～8月15日の全期間休業し、感染防止に協力した事業者に対しては協力金20万円を支給する。</p>
5	イベントの開催	<p>(1) 現在、5,000人までの規模のイベント開催を上限としているが、規模要件の緩和時期を8月1日から9月1日へ延期(7月24日決定)</p> <p>(2) 全国的かつ大規模なイベント等の開催については、リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期するよう、慎重に対応する</p> <p>(3) 民間事業者に対して、国の指針や県策定のガイドラインも参考にしながら、感染予防対策を徹底したうえで、イベント等を実施するよう求める</p>
6	学校	<p>(1) 県立学校の対応</p> <p>①分散登校を実施する場合は以下のとおり対応する</p> <p>ア オンラインシステムツールを活用した遠隔授業を含む学習支援の実施</p> <p>イ 「密集」を回避するため、児童生徒の間隔を可能な限り2m(最低1m)確保するよう座席を配置</p> <p>ウ 健康観察においては、児童生徒の朝晩の検温・体調確認に加え、同居の家族等に発熱等の風邪症状がないかも確認する。なお、出席停止においては、児童生徒に症状がない場合でも、同居の家族に同様の症状がみられる者(同居の家族に症状がなくなれば登校は可能)も対象となる</p> <p>エ 体育授業においては、近距離で組み合ったり、接触したりする活動はリスクが高いことから慎重に検討する</p>

No	区分	実施内容
		<p>オ 部活動においては可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動から段階的に実施</p> <p>②上記①以外の学校は通常どおりの教育活動</p> <p>(2) 市町村立学校への取組</p> <p>市町村においては、県立学校の対応等を参考に、地域や学校の状況を踏まえて判断いただく</p> <p>小中学校における「学びの保障」については、文部科学省通知を各学校に周知し、学び残しが生じないように、教育課程の再編成や指導の重点化等を促すとともに、引き続き遠隔授業を含む学習支援の環境整備を促進する</p>
7	医療提供体制	<p>(1) 病床確保計画に基づき、病床数や宿泊療養施設部屋数を確保する</p> <p>(2) 病床数については、患者推計に基づく最大入院患者数を十分収容できる病床数確保を医療機関に要請し、入院調整を実施する</p> <p>(3) 感染者の急増に伴う病床のひっ迫による医療崩壊を防ぐため、7月30日より、那覇市内に宿泊療養施設（60床）の運用を開始し、那覇市内への追加開設と、宮古・八重山地域等への開設に向け早急に調整を進める</p> <p>(4) 宿泊療養施設対応や、追跡調査のための保健所の体制強化等のため、医療従事者の確保が喫緊の課題となっており、潜在看護師等を含め募集を行っている</p>
8	医療施策	<p>(1) 医療コーディネートチームについては、オンコール体制により活動をしてたが、常駐体制の下での活動に移行</p> <p>(2) 北部地区、浦添市で運営中の検体採取センターに加え、8月上旬には中部地区でセンターの運営を開始する</p> <p>(3) 検査協力医療機関（一般の病院・診療所）による検査を開始する</p> <p>(4) クラスターの発生が疑われる地域や集団等における集中検査の実施</p>
9	高齢者・障害者施設等	<p>感染防止策を徹底した上で、事業を継続する</p>
10	保育所・放課後児童クラブ	<p>感染防止対策を講じた上で、通常どおりの保育等を提供する</p>
11	県立図書館	<p>(1) 来館者に対し、手指消毒、マスクの着用、3密回避の注意喚起を継続するとともに、感染防止対策をより徹底して行う</p> <p>(2) 今後、感染状況及び県の方針等に応じて座席数や滞在時間等のサービスの一部制限について対応を検討する</p>
12	博物館・美術館	<p>(1) 作成したガイドラインに基づく予防対策を徹底する</p> <p>(2) 一部施設（ふれあい体験室、情報センター）を当面の間休室する</p> <p>(3) ワークショップ等の一部催事を中止する</p> <p>(4) 出入口をメインエントランスの一箇所のみとする</p> <p>(5) メインエントランスにサーモグラフィーカメラを設置する予定（7月末設置予定）。カメラが設置されるまでの間、非接触式体温計による検温を実施する</p>
13	美ら海水族館	<p>現時点では休館せず、感染症防止対策にこれまで通り万全を期していくとともに、必要に応じて入館者数制限等の対応を行う</p>
14	首里城公園	<p>現時点では休業せず、感染症防止対策にこれまで通り万全を期していくとともに、必要に応じて入場者数制限等の対応を行う</p>

No	区分	実施内容
15	県営8公園施設	屋内、屋外施設、遊具等の一律の休館等は行わない。 ただし、中南部地域の感染状況及び施設利用状況を考慮し、各公園指定管理者との協議により、休館、利用制限等を行う。 (県総合運動公園の体育館、トレーニング室、オートキャンプ場、レクプール、遊具等は、休館中。)
16	沖縄コンベンションセンター	(1) 開催準備を進めている催事については、各種ガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底するとともに、主催者及び参加者へその周知徹底を図りながら実施する。 (2) 今後予定されている催事については、上記に加え、必要に応じて催事主催者への延期、規模の縮小等の調整も検討するなどし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努める
17	離島空港・離島港湾	渡航自粛等の状況に応じ、関係団体等と調整の上、施設の運営について検討する

※1 在沖米軍における新型コロナウイルス感染症防止策の徹底及び積極的な情報開示について、要請を行う

※2 第2段階の実施期間中、感染状況等により必要性が生じた場合は、各項目の実施内容を変更する場合がある

## 新型コロナウイルス感染症対策について

### 【県内の感染状況について】

#### 1. 警戒レベルについて

新規感染者数は、7月26日の6人から、27日の18人、28日の21人、29日の44人、30日の49人と急速に感染者が増加している。

警戒レベルを判断する7つの指標については、③重症病床利用率：1.2%、⑦入院1週間以内の重症化率：2.6%は第1段階、⑥新規PCR検査の陽性率：3.0%は第2段階にとどまっているものの、①入院患者数：173人、④直近1週間の新規感染者数：162人、⑤感染経路不明な症例の割合：51.2%は第3段階、②病床利用率：72.1%は第4段階に達している。

全県的に②病床利用率のひっ迫度が進んでいるものの、本日7月30日より那覇市内に軽症者用の宿泊療養施設を開設し病床数を確保しているほか、各医療機関に対しても順次病床数の確保を要請しており、全体として拡充に努めている。

感染者の年代は30代以下が約7割を占めており、また、症状としては、重症者は2名で、無症状や軽症者が多く、症状の軽い方が多いことが特徴であるが、これは、積極的にPCR検査を実施し早期発見ができていたことが要因であるものと考えられる。

これらの状況を総合的に判断すると、現在の県全体としての警戒レベルは、第2段階にあるものと考えている。

なお、北部地域には発生していないものの、昨日、初めて宮古圏域での感染が確認されたことや、八重山旅行から県外に戻った後、発症したとの情報もあることから、離島地域の状況も注視する必要がある。

#### 2. 中南部の感染状況について

地域別の感染状況によれば、那覇市が45%、中部保健所管内が8%、浦添市が7%、宜野湾市が6%と、中南部地域での発生が約9割を占めており、沖縄市のコールセンターでクラスターが発生しているほか、接待・接触を伴う飲食店など夜の繁華街での感染が目立ち、特に那覇市の松山地域では感染が広がっている。

また、感染者の急増に伴い、感染経路の調査中の割合も増えており、市中感染の可能性が高い。

これらの状況を踏まえると、中南部地域の中でも特に一部の地域については、エリアや対象を区切った集中的な対策が重要であり、また、感染状況を全県に広げない対策が必要となっている。

### 【県の取組について】

①クラスター発生の恐れがある地域等に対する集団検査を実施する。

②病床数については、患者推計に基づく最大入院患者数を十分収容できる病床数確保を医療機関に要請し、入院調整を実施する。

- ③感染者の急増に伴う病床のひっ迫による医療崩壊を防ぐため、7月30日より、那覇市内に宿泊療養施設（60床）の運用を開始し、那覇市内への追加開設と、宮古・八重山地域等への開設に向け早急に調整を進める。
- ④宿泊療養施設対応や、追跡調査のための保健所の体制強化等のため、医療従事者の確保が喫緊の課題となっており、潜在看護師等を含め募集を行っている。
- ⑤クラスターが複数発生し、急速に感染が拡大している松山地域の接待・接触を伴うスナック・キャバレー・ナイトクラブ等の事業者に対し、8月1日～8月15日の間、休業を要請する。8月2日～15日の全期間休業し、感染拡大防止に協力した事業者に対しては協力金20万円を支給する。

#### 【県民及び来訪者の皆様へのお願い】

県内の感染状況を踏まえ、8月1日から8月15日まで、次の項目について協力をお願いする

##### ①中南部地域における外出等について

- ・「接待・接触を伴う飲食店等」いわゆる夜の繁華街においてクラスターが発生している状況を踏まえ、夜の繁華街へ行くことは控えること。特に松山地域への外出は自粛すること。
- ・飲食を伴う会合等については、可能な限り控えることとし、実施する場合であっても少人数に抑え、長時間としないようにすること。
- ・市中感染の可能性が高いことから、3密対策等感染対策が徹底されている旨の表示がある店舗や施設を利用すること。
- ・中南部地域において、感染が急激に拡大している状況を踏まえ、中南部地域とその他の地域（北部、宮古、八重山、本島周辺離島）の移動については、慎重に判断すること。

##### ②県内から県外、県外から県内の渡航について

- ・県外からの来訪者については、「接待・接触を伴う飲食店等」などへの外出を控えること。また、3密対策等感染対策が徹底されていない場所への外出を控えること。マスク着用、手指の消毒、毎日の健康管理等感染対策を徹底すること。
- ・県外への渡航については、全国的に感染が拡大していることから、慎重に判断すること。特に人が集まる催事や集会への参加を目的とした渡航や、いわゆる夜の繁華街への訪問には特に注意を払うこと。

#### ○県民の皆さま、来訪者の皆さまへ

- ・「新しい生活様式」（密閉・密接・密集を避けた行動、感染予防策の徹底、うがい・手洗い・ソーシャルディスタンス、接触確認アプリ・の活用等）を徹底して下さい。

#### ○事業者の皆さまへ

- ・感染防止ガイドラインを遵守し、店舗等を安心して利用できるよう表示して下さい。

令和2年7月29日

総括情報部

新型コロナウイルス感染症の軽症者等向け宿泊療養の実施について

沖縄県内において、7月28日に新規感染患者がこれまでに最多の21人発生し累計患者数が231人となるなど、急激に感染患者が増加しています。

感染拡大により、感染症指定医療機関等だけでは患者を受け入れることが困難な状況になっており、入院による治療が必要な感染患者に対応可能な入院医療体制を確保するため、検査で陽性であっても医師が症状等を踏まえ入院が必要ではないと判断した軽症患者等については、宿泊施設で療養いただく体制を整えることが急務となっているため、ホテルリゾネックス那覇様のご協力を得て、下記のとおり宿泊療養施設の運営を開始することといたしました。

施設の運営にあたっては、感染防止・安全対策に万全を期すため、感染症の専門家による指導体制を整え、施設の運営を行うこととしております。

また、4月から6月までの間、東横イン那覇旭橋駅前様のご協力をいただき、安全に宿泊療養施設の運営を行った経験もございます。

厳重な感染防止・安全対策を行い運営いたしますので、県民の皆様におかれましては、県の取組にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 場所

ホテルリゾネックス那覇（那覇市前島3丁目11番地1号）

2 宿泊療養開始時期

令和2年7月30日（木曜日）～

3 入所対象者

PCR検査等で新型コロナウイルスに感染したことが判明した患者のうち、症状等から入院が必要な状態ではないと考えられる者、または、新型コロナウイルスに感染したことが判明し入院している患者のうち、症状が軽快し、院外での療養が可能と判断される者で、本人の同意が得られた者。（ただし、高齢者（65歳以上）、基礎疾患がある者、免疫抑制状態にある者、妊娠している者を除く。）

4 宿泊施設の運営（療養）体制

- (1) 医師、看護職員により宿泊療養者の健康管理を行います。
- (2) 県職員が常駐し、宿泊施設の運営スタッフ（ホテルスタッフや事務員）とともに療養施設の運営にあたります。

沖縄県保健医療部

新型コロナウイルス感染症対策本部総括情報班

(098-866-2014)

## 第2波、第3波に備えた警戒レベル指標の策定について

令和2年7月2日

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部

### 1. 趣旨及び目的

○沖縄県は5月14日に、新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態措置を実施すべき区域から対象外となった

○今後しばらくは、沖縄はもちろん、日本中、世界中においてコロナと共存する「With コロナ」の社会を生きていく必要があり、県民の皆様には「新しい生活様式」の定着をお願いしたい

○一方で、流行の第2波、第3波を見据え、再度の緊急事態の発生に向け、県内の医療提供体制や感染状況に応じた警戒レベルを設定するとともに、具体的な対策の実施例を示した

○各警戒レベルの決定にあたっては、休業要請を解除した際の7項目の判断指標と、県外・海外の感染状況や県内の医療提供体制の実情等も踏まえた上で、総合的に判断する

※患者推計に当たっては、

①生産年齢人口群中心モデル、②再生産数：1.7、③協力要請のタイミング：基準日の3日後をそれぞれ選択し、1日最大の入院患者200人、患者総数425人と推計

(基準日：人口10万人あたり週間新規感染者数が2.5人、沖縄県の場合37人となった日)

## 2. 警戒レベルの判断基準

沖縄県では、次の7項目の判断指標に加え、県外・海外の感染状況や県内の医療提供体制の実情等も踏まえた上で、総合的に判断し警戒レベルを決定する。ただし、流行状況に地域差があることが想定されることから、各地域の流行状況を勘案し実施内容を決定する。

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	
県内の 医療提供体制	判断指標	発生早期 (散発発生期)	流行警戒期	感染流行期	
	①	入院患者数 (宿泊施設療養含む)	54人以下	329人以下	329人超 ピーク時の患者総数 425人
	②	病床利用率	45%以下	70%以下	70%超
県内の 感染状況	③	重症病床利用率	30%以下	60%以下	60%超
	④	新規感染者数 (直近1週間合計)	14人以下	37人以下	211人超
	⑤	感染経路不明な症例の割合 (直近1週間平均)	30%以下	50%以下	70%以下
	⑥	新規POR検査の陽性率 (直近1週間平均)	1%以下	3%以下	7%以下
	⑦	入院1週間以内の重症化率 (直近1週間平均)	10%以下	15%以下	20%以下

※ 基準日を超えた段階で、流行期と捉え、第3段階に入るものとする

基準日：人口10万人あたり週間新規感染者数が2.5人、沖縄県の場合37人となった日

※ 判断指標のうち、①入院患者数、④新規感染者数を重視すべき指標とする

2

## 3. 警戒レベルの実施例（1）

No	区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
	緊急事態宣言		緊急事態宣言を検討	緊急事態宣言を発令 (基準日(※)から3日後)	
1	外出自粛	「三つの密」を徹底的に避け、新しい行動様式の徹底の上での外出を要請	①第1段階を要請 ②クラスターが発生している業種や、接待・接触を伴う飲食店等への外出自粛を要請	不要不急な外出自粛を要請	①自宅待機を要請 ②スーパー等への外出も最大限控えるよう要請
2	渡航自粛：離島	感染防止対策の徹底や体調不良者の渡航延期等の注意喚起	渡航自粛要請について市町村と協議	市町村協議を踏まえ、渡航自粛を要請	
3	渡航自粛：県外	感染地域への(からの)渡航者の外出自粛を要請	感染地域への(からの)渡航者の渡航自粛を要請	不要不急な渡航自粛を要請	渡航自粛を要請
4	休業要請	3密の注意呼びかけを徹底	クラスター等が発生している業種や、接待・接触を伴う業種等への休業要請を検討	①クラスター等が発生している業種や、接待・接触を伴う業種等への休業要請 ②飲食店への協力依頼 酒類の提供：夜7時まで 閉店時間：夜8時まで	①幅広く休業を要請し、休止要請外施設も活動縮小を要請 ②スーパー等は入店規制を行うなど、3密対策の徹底を要請
5	イベントの開催	①「新しい生活様式」の徹底等を定めた県主催イベント等実施ガイドラインに基づき開催 ②民間事業者にも要請	①感染状況により開催規模の縮小や、開催期間の短縮等を検討の上、開催を検討 ②民間事業者にも要請	①県主催イベントの開催中止または延期 ②民間事業者にも要請	全てのイベントの開催中止または延期
6	学校	①感染者発生学校は臨時休業 ②感染者未発生学校は通常通りの教育活動	①感染者発生学校は臨時休業 ②感染者未発生学校は通常通りの教育活動又は分散登校 ③感染者未確認地域は通常通りの教育活動	①感染者発生学校は臨時休業 ②分散登校または臨時休業 ③感染者未確認地域は、近隣状況を踏まえ分散登校や一斉臨時休業を踏まえ	①一斉臨時休業(休校)
7	医療提供体制	※医療機関における段階毎の病床数、宿泊施設部屋数については、推計患者数に応じて別途病床確保計画にて定める。	児童生徒の居場所確保、スクールカウンセラー等による相談業務 遠隔授業を含む学習支援		病床数 200床 宿泊施設 225部屋
		宿泊施設(軽症者用)の運用準備	宿泊施設の運用開始	宿泊施設を段階的に拡充	

※ 基準日：人口10万人あたり週間新規感染者数が2.5人（沖縄県の場合37人）となった日

3

### 3. 警戒レベルの実施例（2）

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
8 医療施策	①積極的疫学調査の実施 ②医療コーディネーターチームの始動	①検体採取センターの稼働 ②クラスターの発生警戒	①待機的手術の延期要請 ②コロナ以外の転院促進	①高度医療機器の稼働状況把握と調整 ②県外からの医師派遣を要請
9 高齢者・障害者施設等	感染防止対策を徹底した上で、事業を継続			
10 保育所・放課後児童クラブ	通常どおり保育等の提供		家庭対応可能な場合などは可能な限り利用の自粛を要請 必要な場合には、代替サービスである訪問系サービスの確保を要請	
11 県立図書館	通常どおり開館又は感染状況に応じてサービスの一部制限		保育等の提供縮小及び登園自粛の要請	保育等の提供縮小及び登園自粛又は臨時休園の要請
12 博物館・美術館	通常の施設運営	①一部施設の休室等を検討 ②イベントの規模縮小・期間短縮等の上、開催を検討	臨時休館（来館を伴わない各種サービスを実施）	臨時休館
13 美ら海水族館	通常の施設運営	屋内施設の閉鎖	屋内・屋外施設、駐車場の閉鎖	屋内・屋外施設、駐車場の閉鎖
14 首里城公園	通常の施設運営	屋内施設の閉鎖	屋内施設、駐車場の閉鎖 散歩等は可(首里壮健芝生広場等)	屋内施設、駐車場の閉鎖 散歩等も不可
15 県営8公園施設	通常の施設運営	屋内・屋外施設、遊具の閉鎖 (運動を伴わない行動は、原則マスク着用)	屋内・屋外施設、遊具、駐車場の閉鎖 (散歩、ジョギング等は可)	公園全面閉鎖 (散歩、ジョギング等も不可)
16 沖縄コンベンションセンター	通常の施設運営	催事主催者へ催事の延期、規模の縮小等を調整	催事主催者へ催事の延期、規模の縮小等を要請	閉館の協議、及び閉館の実施
17 離島空港・離島港湾	通常の施設運営		※渡航自粛の状況に応じ、関係団体等と調整の上、施設の運営について検討する。	

※ 上記は例示であって、状況によっては前倒しで実施することや、実施を見送ることもあり得る